

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
2年後期		保育内容総論 (Y H I I A 1)			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する	
1単位	○	○	○			
評価方法・基準						
レポート	リアクションペーパー	模擬保育	発表	授業態度		
30%	20%	20%	20%	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業は、これまでに学んできた各領域に関する知識や実践で得た内容を振り返りながら、総合的に保育を捉えて学ぶことを目的とする。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討や調べ学習・発表を行って考えを深める。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー及び発表・模擬保育については授業の中でフィードバックする。レポートはmanabaのレポート機能を使用して、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい10の姿」と「保育内容」の関連を理解し、説明できる。
- ・保育の全体的な構造を理解し、説明できる。
- ・保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、説明できる。
- ・保育の多様な展開について具体的に理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士として子育てで支援に関わった経験を生かして、保育内容について実践的に授業を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育のあるべき姿	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	現在の自分の保育観をまとめる	1時間
2	保育の全体構造と保育内容①3つの視点と5領域	予習)	3つの視点と5領域を整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
3	保育の全体構造と保育内容②10の姿と幼少接続	予習)	10の姿について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
4	保育の全体構造と保育内容③ 養護と教育が一体となった保育	予習)	養護と教育について整理	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
5	子どもの発達と保育内容同年齢か・異年齢か（発表）	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
6	遊びによる総合的な保育内容から・ねらいから（発表）	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
7	子どもの主体性と保育自由保育・一斉保育（発表）	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
8	個と集団の発達を踏まえた保育全員参加・個人の自由（発表）	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
9	長時間保育の賛否（発表）	予習)	発表に備え資料作り	2時間
		復習)	発表内容の考察	1時間
10	保育内容における遊びー遊びの定義と意義	予習)	遊びの意義について下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
11	保育内容における遊びー教材を生かす	予習)	子どもの遊びについて下調べ	0.5時間
		復習)	授業内の課題について考察	1時間
12	保育現場が抱える課題ー保育者に求められること	予習)	保育現場の課題を整理する	0.5時間
		復習)	エゴグラムの考察	1時間
13	保育の計画と評価ー指導案を書く	予習)	指導案の書き方を復習	0.5時間
		復習)	月案の作成	1時間
14	模擬保育	予習)	模擬保育の練習	1時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間
15	模擬保育 振り返り	予習)	模擬保育の練習	1時間
		復習)	模擬保育の振り返り	1時間

担当者からのメッセージ

保育内容の集大成となる学びですので、自分の保育観を省察しましょう。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		保育と環境 (Y H I I A 4)		演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する					

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業では、環境を通じた保育を前提に、保育者の役割についての理解を深め、幼児の発達にとっての環境の意義について学ぶ。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れる。また、グループワークで議論や意見の共有を行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーについては授業の中でフィードバックする。定期試験は返却する。

【授業の到達目標】

- ・子どもにとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、環境を通じた実践的な支援を行うことができる。
- ・子どもを取り巻く環境や、子どもと環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通じた保育について考える。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	授業概要 環境を通じた保育とは	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
2	自然体験について知る	予習)	自然体験の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
3	いろいろな子どもの遊び場・遊具	予習)	遊び場・遊具の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
4	子どもの成長と保育環境とは ①3歳未満児	予習)	指針解説 P145-155を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
5	子どもの成長と保育環境とは ②3歳児	予習)	指針解説 P228-247を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
6	子どもの成長と保育環境とは ③4歳児	予習)	要領解説 P193-212を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
7	子どもの成長と保育環境とは ④5歳児	予習)	要領解説 P2-21を読む	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
8	いろいろなものを栽培・収穫体験	予習)	栽培・収穫体験の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
9	いろいろな生き物を飼育	予習)	生き物飼育の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
10	いろいろな日本の年中行事	予習)	年中行事の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
11	保育環境の中にある数量・図形	予習)	数量・図形の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
12	保育環境の中にある標識・文字	予習)	標識・文字の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
13	園外保育をはじめとする地域社会と関わり	予習)	園外保育の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
14	幼小接続をはじめとする地域社会との関わり	予習)	保育資源・文化施設の下調べ	0.5時間
		復習)	授業内で行ったワークの考察	1時間
15	連絡帳の役割 まとめと振り返り	予習)	連絡帳の役割について考える	0.5時間
		復習)	定期試験準備	1時間

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
2年前期	保育内容の指導法（環境） （ Y H I A 9 ）			演習	佐々木 由美子	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する		
1単位	○	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	模擬保育	課題	リアクションペーパー			授業態度
40%	20%	20%	10%	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業では、園での日常生活の中で子ども達が接する環境について理解を深め、探究する心を育めるように魅力的で安全な環境を構成する能力を養う。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れ、グループワークや模擬保育を行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、模擬保育に関しては授業の中でフィードバックし、共有する。課題は授業で解説し、定期試験は返却する。

【授業の到達目標】

- ・乳幼児にとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、情報機器等を活用して教材作成ができ、環境を通した実践的な援助と支援を行うことができる。
- ・幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通した保育について考える。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	授業概要 私たちを取り囲むもの	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習) 環境システムについてまとめる	1時間
2	保育における「環境」とは「ねらい」と「内容」の理解	予習) 環境の「ねらい」と「内容」を確認する	0.5時間
		復習) 3歳以上と未満の内容の違いをまとめる	1時間
3	環境の要素としての 人、物、自然、社会	予習) 環境の4要素の下調べ	0.5時間
		復習) 野菜・果物の旬を調べる	1時間
4	教材研究：自然環境 身近な自然を体験する	予習) 織姫山について調べる	0.5時間
		復習) 教材を完成させる	1時間
5	園の環境	予習) 園環境の下調べ	0.5時間
		復習) DVD課題を完成させる	1時間
6	教材研究：物的環境 遊具やおもちゃについて知る	予習) 小麦粉粘土の作り方の下調べ	0.5時間
		復習) 製作遊びに使う道具の特徴をまとめる	1時間
7	ものの性質や仕組みに気づく	予習) 浮沈子の作り方の下調べ	0.5時間
		復習) 目に見えないものを感じる遊びをまとめる	1時間
8	社会的環境(1) 年間行事と地域社会との触れ合い	予習) 鬼お面の作り方の下調べ	0.5時間
		復習) 年間行事にかかわる絵本を見つけて読む	1時間
9	社会的環境(2) 多文化との関わり	予習) 日本在住の外国人人口について調べる	0.5時間
		復習) 多文化学校プロジェクトのサイトを確認	1時間
10	教材研究：情報機器を活用した教材作成	予習) お菓子箱工作の下調べ	0.5時間
		復習) 子どもが情報機器を使う是非を考える	1時間
11	子どもと環境のかかわりをとらえる視点	予習) 子どもにとっての環境の役割をまとめる	0.5時間
		復習) 教材研究を行う	1時間
12	園の模擬環境及び模擬保育 指導案作成	予習) 模擬保育で行う活動を考える	0.5時間
		復習) 指導案を完成させる	1時間
13	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習) 模擬保育の練習	0.5時間
		復習) 模擬保育の振り返り	1時間
14	園の模擬環境及び模擬保育 発表	予習) 模擬保育の練習	0.5時間
		復習) 模擬保育の振り返り	1時間
15	園の模擬環境及び模擬保育 発表 振り返り	予習) 模擬保育の練習	0.5時間
		復習) 振り返りシートを完成させる	1時間

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	保育者論 (YHIB1)			講義	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業は、保育者に求められている資質や期待される役割を理解することを目的とし、保育者としての専門性を保育現場の実態から学ぶ。授業は講義を中心とするが、ディスカッションやカンファレンスも含め実践的内容を取り入れる。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。定期試験は返却する。

【授業の到達目標】

- ・保育者の役割と倫理について理解し、説明できる。
- ・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明できる。
- ・保育者の専門性について考察するとともに理解し、説明できる。
- ・保育者の連携・協働について理解し、説明できる。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育者とは：保育者の専門性について改めて考える	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握		1時間
		復習) 保育者の専門性についてまとめる		3時間
2	保育者の役割：保育の現場でどのような役割を果たすのか グループディスカッション・発表	予習) 自分なりに保育者の役割をまとめる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
3	保育者の制度的な位置づけと倫理 全国保育士倫理綱領について学ぶ	予習) 倫理綱領を熟読し、理解する		2時間
		復習) 保育者の制度的な位置づけをまとめる		2時間
4	保育者の専門性と資質・能力①：乳児の保育 保育カンファレンス	予習) 乳児の発達についてまとめる		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		2時間
5	保育者の専門性と資質・能力②：3歳児の保育 保育カンファレンス	予習) 3歳児の発達についてまとめる		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		2時間
6	保育者の専門性と資質・能力③：4歳児の保育 保育カンファレンス	予習) 4歳児の発達についてまとめる		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		2時間
7	保育者の専門性と資質・能力④：5歳児の保育 保育カンファレンス	予習) 5歳児の発達についてまとめる		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		2時間
8	保育者の専門性と資質・能力⑤：多様な子どもの保育 保育カンファレンス	予習) 多様な子どもの発達についてまとめる		2時間
		復習) 保育カンファレンスのまとめを行う		2時間
9	計画に基づく保育の実践と省察・評価 保育のPDCAについて	予習) 教育実習で作成した指導案を見直す		2時間
		復習) 自分自身のPDCAを作成する		2時間
10	地域や関連機関との連携・協働 多様な子育て支援サービスについて	予習) 地域の関連機関について調べる		2時間
		復習) 連携・協働の必要性の意味をまとめる		2時間
11	保育者の資質向上とキャリア形成 グループディスカッション・発表	予習) 資質向上に必要なことについてまとめる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
12	保育の質を向上させるためすべきこと グループディスカッション・発表	予習) 資質向上に必要なことについてまとめる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
13	保育者としての子育て支援 事例検討	予習) 子育て支援とは何かについてまとめる		2時間
		復習) 子育て支援の必要性についてまとめる		2時間
14	現代社会における保育者の課題 グループディスカッション・発表	予習) 保育者の課題についてまとめる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		2時間
15	連絡帳のやりとり(事例検討) まとめと振り返り	予習) 自分の保育観をまとめる		2時間
		復習) 定期試験の準備		2時間

担当者からのメッセージ

保育者は、倫理観に支えられた専門的知識や技術を持つ者として社会的に認められている専門職です。プロの保育者になるために、保育について一緒に考えていきましょう。保育カンファレンス・ディスカッションには積極的に参加してください。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	幼児理解と教育相談 (Y H I C 4 #)			講義	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布
2単位	—	○	#		
評価方法・基準					
レポート	リアクションペーパー	演習	実技	授業態度	
40%	20%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業は、幼児理解を深めるとともに、教育相談の基礎知識の習得を目指し、現在の幼児教育現場が抱える諸問題を解決するための技法を身につける。授業は講義を中心とするが、ロールプレイ・ソーシャルスキルズトレーニング(SST)・事例検討・グループワークなどを行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・各演習・事例検討などに関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポートは、manabaのレポート機能を使用してフィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・保育の出発点として、幼児を理解することの重要性について理解し、説明できる。
- ・カウンセリングマインドと保育臨床の視点から、初歩的な教育相談ができるようになる。

【実務経験】

保育士及び学校心理士の実務経験を生かし、教育相談に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 幼児教育現場が抱える課題	予習)	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習)	演習についてまとめる	3時間
2	ソーシャルワークとは何か	予習)	ソーシャルワークについて調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
3	保育の出発点としての子ども理解	予習)	子どもを知ることの意味について考える	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
4	子どものSOSを読み取る	予習)	こどものストレスについて調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
5	保育者の役割	予習)	保育者の役割について考える	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
6	コミュニケーション力を高める	予習)	コミュニケーション力について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
7	アセスメント力を高める	予習)	アセスメント力について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
8	問題解決力を高める	予習)	問題解決能力について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
9	アウトリーチ手を差し伸べ専門職や住民と連携する	予習)	アウトリーチについて調べる	2時間
		復習)	事例についてまとめる	2時間
10	自己肯定感—自分と他者の価値を尊ぶ—	予習)	自己肯定感について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
11	カウンセリングの技法	予習)	カウンセリングの方法について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
12	模擬カウンセリング	予習)	カウンセリングの効果について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
13	子どもの最善の利益の重視	予習)	子どもの権利条約について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
14	信頼関係を基本とした受容的関わり	予習)	バイステックの7原則について調べる	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間
15	体験学習—人間関係— まとめと振り返り	予習)	良好な人間関係に必要なことを考える	2時間
		復習)	演習についてまとめる	2時間

担当者からのメッセージ

保育者は、子どもやその家庭と向き合う最前線に立っています。子どもや家庭の幸せのために、保育者としてどうかかわってほしいのか、一緒に考えましょう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		こども家庭支援の心理学 (H I F 1)		講義	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
レポート	リアクションペーパー	考察発表	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布					

授業概要

【授業内容・方法】

この授業は、生涯発達に関する心理学の基礎的知識を修得すること、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得することを目的として開設されている。専門職としてこの学びを実践の場で生かせるよう、事例検討を含めた演習課題やディスカッションも行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポートは、manaba のレポート機能を使用してフィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・子どもの初期経験の重要性、発達課題について理解し、説明できる。
- ・親子関係や家族関係等について多角的観点から理解し、説明できる。
- ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解し、説明できる。
- ・子どもの精神保健とその課題について理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション こども家庭支援の心理学とは 生涯発達 ①赤ちゃんはなぜ指差しをするのか	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習	赤ちゃんの指差しについてまとめる	3時間
2	生涯発達 ②乳幼児期の発達－認知機能	予習	ヴィゴツキーの内言・外言を調べる	2時間
		復習	乳幼児期の認知発達についてまとめる	2時間
3	生涯発達 ②乳幼児期の発達－情緒の発達	予習	ホスピタリズムについて調べる	2時間
		復習	乳幼児期の社会性発達についてまとめる	2時間
4	生涯発達 ③乳幼児期の発達－社会性の発達	予習	エリクソン・ボウルビーの理論を調べる	2時間
		復習	乳幼児期の社会性発達をまとめる	2時間
5	生涯発達 ④児童期の発達	予習	メタ認知について調べる	2時間
		復習	児童期の発達についてまとめる	2時間
6	生涯発達 ⑤青年期の発達	予習	モラトリアムについて調べる	2時間
		復習	青年期の発達についてまとめる	2時間
7	生涯発達 ⑥成年・老年期の発達－認知機能	予習	空の巣症候群について調べる	2時間
		復習	成年・老年期の発達についてまとめる	2時間
8	こどもの精神保健とその課題	予習	子どもの精神的課題について調べる	2時間
		復習	子どもの精神保健とその課題をまとめる	2時間
9	子育てを取り巻く社会的環境	予習	現代社会の子育て環境を調べる	2時間
		復習	子育ての社会的環境をまとめる	2時間
10	ライフコースと仕事・子育て	予習	ワークライフバランスを調べる	2時間
		復習	ライフコースについてまとめる	2時間
11	子どもの成長の喜びを共有する	予習	成長の喜びとは何かを考える	2時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
12	保護者の養育力に資する支援	予習	保護者の養育力とは何かを考える	2時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
13	保護者支援の実際	予習	保護者支援の例を調べる	2時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
14	特別な配慮を要する家庭	予習	特別な配慮を要する家庭について調べる	2時間
		復習	事例についてまとめる	2時間
15	まとめと振り返り	予習	授業を振り返り、疑問等をまとめる	2時間
		復習	内容を振り返り、レポートを作成する	2時間

担当者からのメッセージ

乳幼児期は、生涯にわたる発達の中で最も大事な時期です。子どもの発達と家庭の関係について一緒に考えましょう。
【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
1年後期		こどもの理解と援助 (H I F 2)			演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する	
1単位	—	—	○			
評価方法・基準						
レポート	リアクションペーパー	事例考察	実技	授業態度		
40%	20%	20%	—	20%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業は、「保育との関連で子どもの発達の過程や学びの過程について学ぶこと」「子どもの心身の状態や行動等を把握する技術を高め、子ども理解に基づく適切な発達援助を行うこと」を目的として開設されている。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討を含めた演習課題とディスカッションなどを実施する。

【フィードバックの方法】

事例検討や演習課題・リアクションペーパーについては授業の中で解説を行う。レポートはmanabaのレポート機能を使用して、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・子どもの心身の発達と保育実践について理解し、説明できる。
- ・子どもの経験や学習の過程を理解し、説明できる。
- ・保育における発達援助のあり方について理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士として子育てで支援に関わった経験を生かして、保育における発達援助について実践的に授業を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	授業概要 子ども理解における発達の把握	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
2	個人差や発達過程に応じた保育	予習) 保育・教育課程の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
3	身体感覚をともなう多様な経験と環境との相互作用	予習) 子どもの身体機能の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
4	子ども相互の関わりと関係づくり	予習) 子どもの愛着形成過程の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
5	子ども集団と保育の環境	予習) 集団力学の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
6	子どもの生活と学び	予習) 学びと欲求の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
7	子どもの遊びと学び	予習) 社会的遊びの下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
8	自己主張と自己抑制	予習) 自我の発達の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
9	主体性の形成	予習) 主体的活動の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
10	生涯にわたる生きる力の基礎を培う	予習) 生きる力の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
11	発達と学びの連続性と就学支援	予習) 発達の連続性の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
12	発達援助における協働	予習) 保育現場での協働の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
13	発達の課題に応じた援助やかかわり	予習) 子どもの多様性の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
14	現代社会における子どもの発達と保育の課題	予習) 保護者支援の下調べ	0.5時間
		復習) 授業内で扱った事例について考察	1時間
15	まとめと振り返り	予習) これまでの授業についてまとめる	1時間
		復習) レポート作成	1時間

担当者からのメッセージ

事例を多く扱います。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む) (YHⅡB5)			演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	10%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

教科書
なし
参考書
「演習・保育と障害のある子ども」野田
敦史他・みらい・2017・2300円(税別)
教材
適宜配布

授業概要

【授業の内容・方法】

特別支援教育Ⅰで学んだことを基礎とし、特別な支援を要する子どもを含んだ集団が育ちあっていくためにはどうすればいいか、具体的場面を通して理解をする。指導計画や連携機関について具体的実践に基づいて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。

【フィードバックの方法】

・課題に対するフィードバックを授業内で実施し、講評・解説の時間を設ける。

【授業の到達目標】

- ・特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働・保育の課題について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 特別支援教育Ⅰの振り返り	予習) シラバス確認		0.5時間
		復習) 授業内容の整理		0.5時間
2	障害のある子どもの気持ちを知る ロールプレイを中心として	予習) Ⅰで学んだ障害種を振り返る		0.5時間
		復習) ロールプレイの感想をまとめる		0.5時間
3	近年の特別支援教育の特徴 医療的ケア児への対応	予習) 医療的ケアについて調べる		0.5時間
		復習) 医療的ケア児の動画を見る		0.5時間
4	特別支援教育の実際(1) 子ども同士の育ちあい・保育現場における生活と遊び環境の工夫	予習) Ⅰ第3回授業内容を振り返る		0.5時間
		復習) インクルーシブ保育の状況をまとめる		0.5時間
5	特別支援教育の実際(2) 特別支援と保育の計画：指導計画と支援計画	予習) 保育場面の計画種を調べる		0.5時間
		復習) 指導計画と支援計画の違いをまとめる		0.5時間
6	特別支援教育の実際(3) 指導計画及び個別の支援計画の作成	予習) 指導計画の記入欄を確認する		0.5時間
		復習) 計画の書き方を確認する		0.5時間
7	特別支援教育の実際(4) 職員間の協働と連携：特別支援教育コーディネーター	予習) 取り巻く職員種について調べる		0.5時間
		復習) 特別支援教育コーディネーターについて復習		0.5時間
8	家庭と自治体・関係機関との連携(1) 障がいのある子どもを支える関係機関を知る	予習) 支援機関を調べる		0.5時間
		復習) 支援機関同士の連携をまとめる		0.5時間
9	家庭と自治体・関係機関との連携(2) 小学校への入学：小学校との連携を知る	予習) 小学校への申し込みに必要な物を考える		0.5時間
		復習) 具体的方法を振り返っておく		0.5時間
10	家庭と自治体・関係機関との連携(3) 家庭との連携について知る：障がいの受容①保護者	予習) 親の気持ちを考える		0.5時間
		復習) 障害受容についてまとめる		0.5時間
11	家庭と自治体・関係機関との連携(4) 家庭との連携について知る：障がいの受容②きょうだい	予習) きょうだいの気持ちを想像する		0.5時間
		復習) 様々な家族の形についてまとめる		0.5時間
12	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(1) 外国ルーツ・性的マイノリティ・貧困・ヤングケアラー	予習) 支援が必要な子どもの現代の課題について調べる		0.5時間
		復習) 選択した課題について調べる		0.5時間
13	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(2) 選択課題の作成	予習) 選択した課題について調べる		0.5時間
		復習) 選択した課題について調べる		0.5時間
14	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(3) 選択課題の発表	予習) 選択した課題についてまとめる		0.5時間
		復習) レポートをまとめ、提出する		0.5時間
15	全体のまとめと振り返り	予習) 今までの学習内容を振り返る		0.5時間
		復習) 学習の不足分を復習する		0.5時間

担当者からのメッセージ

授業へはまじめに積極的に参加し、疑問点はその場で質問をして構いません。チャット等での質問も歓迎します。私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	教育課程・保育の計画と評価 (Y H II B 6)			講義	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	—	60%	—	40%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では、保育所や幼稚園等における保育の計画の在り方と作成の方法及び評価の意義について理解するとともに、カリキュラム・マネジメントの意義について学ぶ。指導計画案を作成し、教員による添削指導を経て修正を加えた指導計画案に基づき模擬保育を行い、評価・改善につなげていく。

【フィードバックの方法】

提出された課題については添削を行い、模擬保育では授業内で講評をする。

【授業の到達目標】

- ・ 全体的な計画と教育課程、指導計画の意義と目的を理解し、基礎的な知識を身につけられる。
- ・ 発達の過程や特徴の理解を基に子どもの姿をとらえ、実際に指導計画の作成を通して作成の方法やポイントについて理解する。
- ・ 保育記録、評価・反省と計画の関係を理解し、計画の改善の意義と方法について理解する。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準 備 学 習 時 間
1	授業概要 (授業内容・到達目標・指導方法・留意事項) 保育の基本	予習) シラバスで授業内容・到達目標を把握 復習) 保育の基本についてまとめる		2時間 2時間
2	保育における計画と評価の意義 教育課程・全体的な計画と指導計画	予習) 保育の計画と評価の意義を考察する 復習) 教育課程・全体的な計画の理解		2時間 2時間
3	指導計画作成の基本及び方法 (1) 指導計画の構成	予習) 指導計画の構成を確認する 復習) 見本の指導計画を完成する		2時間 2時間
4	指導計画作成の基本及び方法 (2) 子どもの姿のとらえ方	予習) 子どもの姿のとらえ方を確認する 復習) 子どもの姿を記す		2時間 2時間
5	指導計画作成の基本及び方法 (3) ねらいと内容の設定方法	予習) ねらいと内容の設定方法を確認する 復習) ねらいと内容を記す		2時間 2時間
6	指導計画作成の基本及び方法 (4) 環境構成の考え方	予習) 環境構成の考え方を確認する 復習) 環境構成を記す		2時間 2時間
7	指導計画作成の基本及び方法 (5) 予想される子どもの姿と保育者の援助・配慮の想定	予習) 子どもの姿と保育者の援助配慮を確認 復習) 子どもの姿と保育者の援助配慮を記す		2時間 2時間
8	幼児の特徴と指導計画 指導計画案作成 幼児 (1) 素案作り	予習) 幼児の特徴を確認する 復習) 指導計画の素案を完成する		2時間 2時間
9	指導計画案作成 (幼児) (2) 指導計画案作成	予習) 指導計画案の構想をする 復習) 指導計画案を完成する		2時間 2時間
10	乳児及び1・2歳児の特徴と指導計画 指導計画案作成 (乳児) (1) 素案作り	予習) 乳児、1・2歳児の特徴を確認する 復習) 指導計画の素案を完成する		2時間 2時間
11	指導計画案作成 (乳児) (2) 指導計画案作成	予習) 指導計画案について素案を完成する 復習) 指導計画案の構想をする		2時間 2時間
12	保育の実践【模擬保育】 (1)	予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の評価をする		2時間 2時間
13	保育の実践【模擬保育】 (2)	予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の評価をする		2時間 2時間
14	保育の評価と改善	予習) 保育の評価と改善について確認する 復習) 模擬保育の評価から改善を図る		2時間 2時間
15	全体のまとめ 平常試験	予習) 授業での学びを振り返る 復習) 平常試験の内容を今後につなげる		2時間 2時間

担当者からのメッセージ

評価に関して授業態度には模擬保育発表内容を含みます。課題はその内容が基準に達しない場合、基準に達するまで再提出となる。未提出の場合は評価を行わない。提出物は期限を守ること。

【オフィスアワー】 水曜日 5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	保育原理 (Y H I I E 1)			講義	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
70%	—	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「改訂版 Work で学ぶ保育原理」佐伯一弥 / 金球珠 わかば社					
参考書 「平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 <原本>」チャイルド本社 (同じ内容が記載されていればそれに類するものでも構いません)					
教材 授業内で配布する。					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育の意義と目的について、要領・指針等に基づきその理念を知り、その本質を理解する。自分の経験を発表するなど意見交換をしながら学ぶ。日本や世界でどのような保育がおこなわれているかを理解し、歴史や思想、制度、取り巻く環境について学ぶ。現在の子どもを取り巻く環境を理解し、課題についてディスカッションを行い、意見をまとめ発表する。テキストがワークブックとなっているため、テキストに合わせて授業を進め、さらにテーマに合わせた資料の提供や動画の視聴を行い、それらの学びに基づいた意見交換などを実施する。

【フィードバックの方法】

小テスト、授業内試験、課題、レポート等について、授業時間または manaba 等を用いて講評・解説を行う。

【授業の到達目標】

保育の意義、保育所保育指針等における保育の基本、保育の内容と方法の基本を説明できる。
保育の思想と歴史の変遷を説明できる。保育の現状と課題について考察し、意見を述べることができる。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	ガイダンス 保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観を学ぶ。	予習) シラバスをよく読んでおく。 復習) テキストを再度読み必要な記入をする。		2時間 2時間
2	保育に関する諸法令などからみる保育の原理を学ぶ。	予習) 保育施設の特徴について調べる。 復習) 法令ごとの関係を整理しておく。		2時間 2時間
3	保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園保育教育要領にみる保育の原理について学ぶ。	予習) 法令についてテキストを再度確認しておく。 復習) テキスト内のワークを再度確認する。		2時間 2時間
4	養護と教育の一体化について学ぶ。	予習) 養護・教育・保育という言葉を調べる。 復習) 教育と養護の必要性をまとめる。		2時間 2時間
5	保育実践の基本構造について学ぶ。	予習) テキストUnit 5 をよく読んでおく。 復習) 5領域の意義とねらいをまとめる。		2時間 2時間
6	多様な保育内容とその方法を理解する。	予習) 自分が受けた保育を振り返る。 復習) どのような保育を実践したいか考える。		2時間 2時間
7	子育て支援について学ぶ。	予習) テキストUnit7を読んでおく。 復習) 地域の子育て支援の内容をまとめる。		2時間 2時間
8	西洋と日本の保育の創成期について学ぶ。	予習) テキストUnit 8 を読んでおく。 復習) 学んだ保育の理念や人物などを覚える。		2時間 2時間
9	保育の歴史から思想と意識を学ぶ。	予習) テキストUnit 9 を読んでおく。 復習) 人物の関連性を整理する。		2時間 2時間
10	日本の保育実践の発展過程について学ぶ。	予習) テキストUnit10を読んでおく。 復習) 幼稚園・保育所の発展過程を整理する。		2時間 2時間
11	倉橋惣三とその周辺の思想について学ぶ。	予習) 倉橋惣三について調べておく。 復習) 96ページの人物相関マップを確認する。		2時間 2時間
12	保育者の在り方を考える。	予習) 必要とされる保育者について考える。 復習) 保育者の在り方に関し考えをまとめる。		2時間 2時間
13	多様性と保育 (テキスト外の資料等から学ぶ)	予習) 多様性とは何かを調べる。 復習) 多様な背景の子どもの保育を考える。		2時間 2時間
14	これからの保育について ICTやグローバルな視点から学ぶ。	予習) 様々な保育方法を調べておく。 復習) 世界の保育の課題についてまとめる。		2時間 2時間
15	まとめとディスカッション	予習) これまでの学習を振り返る。 復習) 本科目のすべての内容をまとめる。		2時間 2時間

担当者からのメッセージ

授業へははじめに積極的に参加してください。私語、居眠りなどは厳禁とします。疑問点はその場で質問をして構いません。チャット等での質問も歓迎します。

【オフィスアワー】 水曜日 5 コマ目です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		社会的養護Ⅱ (H I I G 4)		演習	林 恵
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
教科書なし 参考書 【演習】社会的養護Ⅱ 編著吉田真理・社会福祉小六法 教材 適宜配布					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	70%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

児童養護施設で生活する子どもたちや障害児通所施設で療育を利用する子どもたちを理解し、その家庭の相談に応じ情報共有しながら子どもの育ち・暮らしを支えていく保育士に求められる資質や倫理、役割について学びを深める。また、虐待体験の影響及び障害の捉えかたや特性を理解し、ライフステージに応じた継続した支援の必要性を学ぶことを目的とする。授業は事例に対するディスカッションを中心におこなう。

【フィードバックの方法】

ディスカッションに対するフィードバックを授業内で実施し、講評・解説の時間を設ける。

【授業の到達目標】

①子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に説明できる。②施設養護及び家庭養護の実際について説明できる。③社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について説明できる。④社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について模擬的に実践できる。⑤社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について説明できる。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 社会的養護Ⅰの振り返り	予習) シラバス確認		0.5時間
		復習) 授業内容の整理		0.5時間
2	養護の場面の事例を考える① 施設実習のエピソードをまとめる。	予習) 実習での経験を整理する		0.5時間
		復習) 共有したエピソードを振り返る		0.5時間
3	養護の場面の事例を考える② エピソードから脚本を書く	予習) エピソードの個々の背景を考える		0.5時間
		復習) 脚本を仕上げる		0.5時間
4	養護の場面の事例を考える③ ロールプレイを発表する	予習) 脚本を読み返す		0.5時間
		復習) ロールプレイの振り返りを行う		0.5時間
5	児童の権利について学ぶ①基礎的事項 児童の権利条約・こども基本法	予習) 児童の権利について調べる		0.5時間
		復習) 権利にかかわる条約・法を振り返る		0.5時間
6	児童養護施設で暮らす子どもの事例を検討する	予習) 児童養護施設について調べる		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
7	家庭的養護が必要な子どもの事例を検討する	予習) 家庭養護とは何かを調べる		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
8	障害がある子どもと家庭についての事例を検討する	予習) 障害児を支える仕組みを調べる		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
9	マルトリートメントについての事例を検討する	予習) マルトリートメントについて調べる		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
10	生きづらさと感じている子どもについて検討する 貧困・ヤングケアラー・いじめなどの事例	予習) 生きづらさとは何かを考える		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
11	コミュニケーションについて学ぶ(支援者としてのコミュニケーション・こどもに伝えたい感情マネジメント)	予習) 感情マネジメントについて調べる		0.5時間
		復習) 学習内容を日常に反映する		0.5時間
12	社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について事例を基に学ぶ。	予習) 個別・自立支援計画について調べる。		0.5時間
		復習) 事例の振り返りを行う		0.5時間
13	児童の権利について学ぶ②応用的事項	予習) 第5回の振り返りを行う		0.5時間
		復習) 課題の作成に取り組む		0.5時間
14	児童の権利について学ぶ③各自の発表	予習) 発表の準備を行う		0.5時間
		復習) 発表の振り返りを行う		0.5時間
15	全体のまとめと振り返り	予習) 今までの学習内容を振り返る		0.5時間
		復習) 学習の不足分を復習する		0.5時間

担当者からのメッセージ

ワークには積極的に参加してください。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	体育理論 (Y H I E 1)			講義	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「生理人類学」(富田守著 朝倉書店) 「生理学」(真島英信著 文光堂) 教材
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	50%	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の容・方法】

ヒトは、長い進化の過程で獲得して来た形質や受け継がれてきたもの、あるいは失って来たもの等を複雑に加味し存在している。自然に動かしているヒトの身体特性について把握するとともに、動きとの関連を考え、身体運動のしくみについて学んでいく。

授業は講義を中心として、演習を適宜取り入れ、それをもとにディスカッションやグループワークを適宜行う。

【フィードバックの方法】

レポートの評価を行いながら、リアクションペーパーの振り返りにより理解を深めていく。レポート等は返却する。

【授業の到達目標】

・ヒトの運動行動や身体機能の動きを説明できる。

【実務経験】

・スポーツ指導者資格と障がい者スポーツ指導者資格、日本スポーツ協会コーチデベロッパーの資格を持った教員の指導のもと、理論を含めた科学的な運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	体力とは何か 測定の意味と方法、評価について	予習	体力について調べる	2時間
		復習	体力とその評価法についてまとめる	2時間
2	ヒトのかたちと運動 健康との関連について 加齢と身体の変化について	予習	人体の形状について調べる	2時間
		復習	解剖学などをもとに人体についてまとめる	2時間
3	神経・筋活動について 筋構造 脳や神経と動きの連携について	予習	脳・神経・筋の働きについてまとめる	2時間
		復習	神経系と筋の関わりについてまとめる	2時間
4	運動傷害について 予防としてのストレッチングと基礎の運動 理論と方法	予習	運動障害について調べる	2時間
		復習	運動障害の予防とケアについてまとめる	2時間
5	身体機能について 形態、血圧、脈拍、皮下脂肪厚について	予習	血圧、脈拍、皮下脂肪について調べる	2時間
		復習	身体機能と各機能の関りについてまとめる	2時間
6	呼吸と循環について 呼吸と循環、エネルギー代謝と運動について	予習	呼吸と循環、エネルギー代謝について調べる	2時間
		復習	呼吸と循環、エネルギー代謝についてまとめる	2時間
7	適応生理について ヒトの生活における適応能力 動作の進化・発達・変化	予習	適応と進化について調べる	2時間
		復習	人間の適応能力と進化についてまとめる	2時間
8	運動処方について 運動不足について 運動の内容と捉え方と基礎の運動	予習	運動不足、フレールについて調べる	2時間
		復習	自身への運動処方を考える	2時間

担当者からのメッセージ

ヒトの身体について理解を深めるとともに、その不思議について一緒に考えましょう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	体育実技 (Y H I E 2)			実技	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 なし 教材 適宜配布
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	10%	30%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

各種運動の特性を学ぶ。また、運動を通して仲間との協力、心身の解放感、ノンバーバルなコミュニケーション能力を高める。

そして、運動不足からの疾病が生活習慣病として取り上げられている現代の状況を理解するとともに、その改善のために生涯にわたり身体運動を楽しみ、その意味付けが出来るような基礎を、実際に身体を動かしながら学ぶ。

身体動作について、随時フィードバック（講評と指導助言）しながら実技形式で授業を展開する。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

・身体の動きを知り、実践を通して捉えることができる。感染症等の対策をしながら運動に親しみ、実践することができる。

【実務経験】

・スポーツ指導者資格と障がい者スポーツ指導者資格、日本スポーツ協会コーチデベロッパーの資格を持った教員の指導のもと、理論を含めた科学的な運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	ガイダンス 授業内容、方法について	予習) 体力とその保持増進について調べる	1.5時間
		復習) 授業の進め方（準備運動）を確認する	1.5時間
2	フィットネス 基礎的基本的な身体運動	予習) 一般的な運動について調べる	1.5時間
		復習) 一般的な運動についてまとめる	1.5時間
3	Co-ordination Training (Basic) レクリエーションの運動	予習) レクリエーション運動について調べる	1.5時間
		復習) 実施した運動の内容についてまとめる	1.5時間
4	体力測定・形態測定等 (1) ※感染症等の状況による	予習) 体力測定とその方法について調べる	1時間
		復習) 測定方法の確認と自己評価をする	2時間
5	体力測定・形態測定等 (2) ※感染症等の状況による	予習) 体力測定とその方法について調べる	1時間
		復習) 測定方法の確認と自己評価をする	2時間
6	陸上競技系の運動： 幼児体育につながる陸上運動 かけっこ、リレーなど	予習) 走競技と走運動について調べる	1.5時間
		復習) 陸上競技系の運動についてまとめる	1.5時間
7	バレーボール (1) 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
8	バレーボール (2) グループによる基礎練習と応用、簡易ゲーム	予習) バレーボールの集团的技能について調べる	1.5時間
		復習) 集团的技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
9	バレーボール (3) 応用技術 ゲームの実践	予習) バレーボールのルールについて調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
10	パラスポーツ (1) ポッチャ、フライングディディスクのルール	予習) 障がい者スポーツについて調べる。	1.5時間
		復習) ポッチャ等のルールをまとめる。	1.5時間
11	パラスポーツ (2)	予習) ポッチャ等の試合運びについて調べる	1.5時間
		復習) ポッチャ等の試合運びをまとめる。	1.5時間
12	器械運動：幼児体育につながる器械運動	予習) 器械運動の種類を調べる	1.5時間
		復習) 器械運動についてまとめる	1.5時間
13	卓球 (1) 基礎技能の習得 フォア・バックハンドストローク、サービス等	予習) 卓球の基礎技能について調べる	1.5時間
		復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
14	卓球 (2) 応用技能 カット、スマッシュ、簡易ルールによるゲームの実践	予習) 卓球の応用技能について調べる	1.5時間
		復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
15	体力測定・形態測定等 (3) ※感染症等の状況による	予習) 体力測定とその方法を振り返る	1時間
		復習) 前回の測定値と比較し、改善計画を立てる	2時間

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
16	バドミントン (1) 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習)	バドミントンの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習)	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
17	バドミントン (2) 応用技能 サービス ルール ゲームの進め方	予習)	バドミントンの応用技能について調べる	1.5時間
		復習)	応用技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
18	バドミントン (3) 応用技能 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習)	バドミントンの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習)	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
19	バスケットボール (1) 基礎技能の習得 パス練習 3対2の攻防等	予習)	バスケットボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習)	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
20	バスケットボール (2) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習)	バスケットボールの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習)	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
21	サッカー〔フットサル〕(1) 基礎技能の習得 キック、パス練習	予習)	フットサルの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習)	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
22	サッカー〔フットサル〕(2) 応用技能の習得 連携、攻撃等の練習	予習)	フットサルの応用技能について調べる	1.5時間
		復習)	集団的技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
23	サッカー〔フットサル〕(3) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習)	フットサルの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習)	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間

担当者からのメッセージ

保育者にとって大切な「体力」に関して、楽しく身体を動かしながら学び、運動やスポーツの方法とルールを理解するとともに、個人的技能や集団的技能、スポーツとコミュニケーションについて考えてみよう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	保育教材研究Ⅲ(防災と危機管理) (H I G 1 2 #)			演習	小野 覚 久
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 なし 教 材 適宜配布
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

防災と危機管理について事例を踏まえて学び、保育に生かす方法について研究する。授業は講義を中心とするが、グループワークやディスカッションを重ねて、災害時等に保育者として子どもたちの命を守る行動をどのようにとればよいかという理論的な理解と、状況に応じて臨機応変に行動できる実践力を身につけられるようにする。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、事例検討、課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。レポート等は返却する。

【授業の到達目標】

- ・防災と危機管理の方法について学び、実践力を身につける。
- ・幼児の防災教育をどのように進めるかといった内容について理解し、説明できる。

【実務経験】

防災士、赤十字救急法指導員、応急手当普及員(消防)の資格を持ち、教育員会で防災教育や放射線教育を担当してきた教員が経験をもとに、教育・保育現場で必要とされる内容の講義と演習を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 授業の進め方、防災と事故対応の意義について	予習) 防災と事故対応について調べる		1.5時間
		復習) 防災と事故対応の意義についてまとめる		1.5時間
2	災害の種類とその対応 災害の種類について学ぶ	予習) 災害の種類について調べる		1.5時間
		復習) 災害の種類についてまとめる		1.5時間
3	災害とその対応：災害発生時の初期対応について ディスカッションを行う	予習) 災害発生時の初期対応について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
4	事例研究①：阪神淡路大震災を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 阪神淡路大震災について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
5	事例研究②：令和元年東日本台風を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 令和元年東日本台風について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
6	事例研究③：東日本大震災を事例として グループワークとディスカッションを行う	予習) 東日本大震災について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
7	前半のまとめ、研究課題の検討 個別の研究課題を設定する	予習) 課題設定の資料を集める		2時間
		復習) 個別の研究課題を設定する		1時間
8	危機管理と初期対応：事故発生時の初期対応について ディスカッションを行う	予習) 事故発生時の初期対応について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
9	危機管理と対応：事故等への対応について グループワークとディスカッションを行う	予習) 事故等への対応について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
10	事例研究④：学校管理下での災害発生について 管理下での災害対応についてディスカッションを行う	予習) 学校管理下での災害について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
11	事例研究⑤：学校管理下での事故について 管理下での事故対応についてディスカッションを行う	予習) 学校管理下での事故について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
12	事例研究⑥：学校管理外での事故とその対応 管理外での事故対応についてディスカッションを行う	予習) 学校管理外での事故について調べる		2時間
		復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間
13	災害ボランティアの方法と実際、保育への活用① 研究課題をもとに、ボランティア体験を行う	予習) ボランティア活動について調べる		1時間
		復習) ボランティア体験についてまとめる		2時間
14	災害ボランティアの方法と実際、保育への活用② 研究課題をもとに、ボランティア体験を行う	予習) ボランティアの種類について調べる		1時間
		復習) ボランティア体験についてまとめる		2時間
15	総括・保育への活用まとめ 研究課題とボランティア体験活動の発表と報告	予習) 研究課題についてまとめる		2時間
		復習) 発表と報告の振り返りを行う		1時間

担当者からのメッセージ

基本的に、事例研究などにより学習を進めていきます。状況に応じてゲストや現場での話を聴く機会を設けたいと考えています。ボランティア活動についても状況に応じて考えているため、協力先の状況に応じて授業の日程に変更などがあるかもしれません。

そのため、特に意欲のある学生に選択してほしいと思います。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		美術 (I A 3)		講義	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
—	15%	30%	25%	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「ART SINCE 1900: 図鑑 1900年以後の芸術」岡崎信一郎ほか 東京書籍・「増補新装 カラー版 西洋美術史」高階秀爾 美術出版社 その他、内容に合わせて適宜紹介する 教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)。適宜授業内で連絡する					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では、現代に生きる私達にとってアート(美術)とはどのような意味をもつものなのかという問いに対して、自らの考えをもつことを目指す。授業では、初めに美術史の大まかな流れを掴んだ後、各回のキーワードからアートについて考えていく。毎授業の前半では講義を行い、後半はキーワードに合わせて簡単な実技、調査、グループでディスカッション等を組み合わせながら考えを深めていく。

【フィードバックの方法】

レポートや各課題について、授業内でアドバイスと解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・美術の大まかな歴史の流れについて説明できる。
- ・現代におけるアートの意味について自らの考えを多様な視点から説明することができる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、美術の専門的な学びを計画していく。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	アートとは何か	予習) アートの定義について調べてくる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
2	美術の歴史を概観するー古代から近代ー	予習) 美術の歴史について調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
3	美術の歴史を概観するー近代から現代ー	予習) 美術の歴史について調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
4	デザインとアート	予習) デザインとアートの共通点と相違点を調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
5	ファッションとアート	予習) ファッションとアートの共通点と相違点を調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
6	表現の自由とアート	予習) 表現の自由とアートの関係について調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
7	パブリック・アートとは	予習) パブリック・アートについて調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
8	デジタル時代のアートとは	予習) デジタルとアートの関係について調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
9	アウトサイダー・アートとは	予習) アウトサイダー・アートについて調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
10	教育とアート	予習) 実社会でのアートによる学びについて調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
11	アーティストを紹介しよう①	予習) アーティストについて複数人調べる		2.5時間
		復習) 興味のあるアーティストについて調べる		1.5時間
12	アーティストを紹介しよう②	予習) 興味のあるアーティストについてまとめる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
13	美術展をつくらう	予習) 美術館の役割について調べる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
14	美術展レポート発表	予習) 自分が調べた美術展についてまとめる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間
15	現代におけるアートの役割	予習) 現代とアートの関係について考えをまとめる		2.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		1.5時間

担当者からのメッセージ

アート(美術)について各回のキーワードを切り口に考えていきましょう。美術が好きなのはもちろん、苦手意識がある人や今まで興味がなかった人も大歓迎です。どこか遠い世界だと思っていたアートの世界が身近に感じられるかもしれませんよ。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育内容の指導法 (造形表現) (Y H I I A 1 1)			演習	茂木 克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	模擬保育	
—	20%	30%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「保育をひらく造形表現」横 英子 萌文書林 参考書 幼稚園教育要領解説 (平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説 (平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 (平成30年3月内閣府)、「色彩ワークショップ (しる・みる・つかうシリーズ1)」色彩ワークショップ編集委員会 日本色研事業株式会社 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル (詳細は1回目の授業で説明します)					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では乳幼児の表現活動、特に造形表現を中心とした保育内容の展開や指導法を実践的に学ぶ。実際に保育現場で用いられることの多い素材や道具に触れることで、その特徴や指導上の留意点を経験的に学べるようにする。指導案の作成や模擬保育を通して、学修した知識を元に保育を計画できる実践的な力の獲得を目指す。適宜、グループワークを取り入れ、多様な表現や視点に気付けるようにする。また、素材や道具、環境の設定と関連させながら安全管理についても取り扱っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内で講評、解説をする。

【授業の到達目標】

- ・ 道具、素材、環境、情報機器等の特徴を理解し、幼児の関心や発達に合わせた保育内容を構想できる。
- ・ 領域「表現」の目標及び内容を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。
- ・ 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点と姿勢を身に付けている。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、素材の特徴や道具の使い方、表現のポイント、具体的な活動の立案方法について実践的に学べるようにする。

授業計画		準備学習 (予習・復習)		準備学習時間
1	領域「表現」と幼児の造形表現活動との関連	予習) 教科書p.9-14,84-86を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 自らの造形体験について思い出す	0.5時間	
2	描画・造形表現の発達と小学校への接続	予習) 教科書p.63-79を読み不明点を調べる	1時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
3	インクルーシブ保育と多様な表現活動	予習) 教科書p.79-81,118-124を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
4	身体感覚を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.15-25を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
5	協働で行う表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.26-30を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
6	色や形を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 色彩や形の基本的なことについて調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
7	描画材の特徴を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 保育現場で使われている描画材について調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
8	描画技法を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 様々な描画技法について調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
9	身近な素材を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 身近にある様々な素材について調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
10	仕組みを用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 仕組みを使った造形活動について調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
11	模擬保育に向けた計画立案と指導案作成	予習) 教科書p.101-110を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
12	模擬保育に向けた教材研究	予習) 教科書p.112-116を読み不明点を調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
13	模擬保育の実践	予習) 模擬保育の準備をする	1時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
14	模擬保育の振り返り	予習) 模擬保育について自己評価をする	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	
15	子どもの造形表現活動の評価とそれを活かした支援	予習) 評価について調べる	0.5時間	
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間	

担当者からのメッセージ

子どもと一緒に造形表現を楽しむためには、保育者自らが素材や道具にたくさん触れそれらに対する理解を深めることが大切です。またその知識を用いて具体的な活動を計画できることが必要になります。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	教育の方法と技術Ⅱ (YHIC2#)			演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 「保育をひらく造形表現」 榎 英子 萌 文書林、「何をつくるか決めない造形あそび そぞい探求LABO」 桐嶋歩 内容に合わせて適宜紹介する 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル (詳細は1回目の授業で説明します)
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
グループでの成果物 (模擬保育含む)	リアクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
35%	10%	25%	20%	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では幼児の造形表現と遊びとの関係性について理解した上で、保育者としてそれを支えるためのより実践的な技能を身につけることを目的とする。一般的に「造形あそび」と言われる、作品の完成を目的としないプロセスを重視した造形表現活動について学び、授業の後半では実際にグループで模擬保育を実践し技能の習得を図る。授業は、造形あそびを体験した後、それを発展させた展開例を考えるという流れで行っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。本授業の評価においては、素材や環境のもつ魅力を活かした独創的で多様な展開例を考えることができているかを重視する。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内に講評、解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・素材や環境のもつ魅力を活かした造形あそびを計画し、状況に合わせて多様な展開ができる。
- ・幼児の造形表現活動において、プロセスを見ることの大切さとその視点を理解できる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、造形表現のプロセスを見取る視点を具体的に示していく。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	造形表現活動とあそび・造形あそびとは表現のプロセスを見ることとは	予習	「あそび」について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
2	ドキュメンテーションとは	予習	ドキュメンテーションについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	造形あそびⅠ— 場所から考える —	予習	場所の力をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
4	造形あそびⅡ— 光から考える —	予習	光の特性をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
5	造形あそびⅢ— 素材から考える —	予習	様々な素材を使った造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
6	造形あそびⅣ— 身近な物から考える —	予習	身近な物を使った造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
7	造形あそびⅤ— 道具から考える —	予習	表現に使用する道具と造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
8	造形あそびⅥ— 行為から考える —	予習	子どもの行為と表現活動について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	1.0時間
9	美術館の利用と対話型鑑賞	予習	美術館の教育普及活動と対話型鑑賞について調べる	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	造形あそびから考える模擬保育①(指導案作成)	予習	模擬保育の内容を考える	0.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	造形あそびから考える模擬保育②(準備)	予習	指導案を完成させる	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	造形あそびから考える模擬保育③(試行)	予習	模擬保育の準備を進める	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	造形あそびから考える模擬保育④(実践・討議)	予習	模擬保育の準備を進める	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	ドキュメンテーションの作成	予習	ドキュメンテーションのアイデアを考える	1.0時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	ドキュメンテーションの発表・討議・まとめ	予習	発表の準備をする	1.5時間
		復習	学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

担当者からのメッセージ

保育者には造形表現活動のプロセスから、子どもたちにおきている学びを読み取り、より魅力的な学びになるよう次の展開を考える力が必要になります。活動を考えたり、模擬保育を経験したりすることを繰り返すことで、保育者としての実践力が育つと考えます。他者と積極的に協力し多様な活動が展開されることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜5コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	仏 教 学 (Y H I A 1)			講義	武 井 峻 應
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート課題	実技	授業態度	
50%	10%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 『仏教百話』増谷文雄					
参考書 『モモ』ミヒヤエル・エンデ 『モモも禅を語る』重松宗育					
教 材 適宜配布					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では、本学が建学の精神としてかかげている仏教についての基礎知識を学び、保育者として、はたまたひとりの人間として、仏教の智慧を日常生活に活かすことができるようになることを目的とする。授業は講義を中心とするが、自らの頭で考え、意見を交換する時間を設ける。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや課題に関しては、授業の中でフィードバックし共有する。定期試験は返却する。但し、魂まつり、成道会、涅槃会のレポートに関しては返却のみとする。

【授業の到達目標】

基本的な仏教用語を理解し、説明できる。仏教行事について理解し、説明できる。仏教の智慧と日常生活を関連付けることができる。

【実務経験】

僧侶としての経験を活かし、仏教の知識を実践的に捉えて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 建学の精神と仏教行事、宗教とは	予習) 自分の宗教観についてまとめる		2時間
		復習) 仏教行事についてまとめる		2時間
2	釈尊の生涯① 釈尊の誕生・四門出遊・出家・修行	予習) 釈尊誕生時の様子について調べる		2時間
		復習) 釈尊の誕生についてまとめる		2時間
3	釈尊の生涯② 成道・梵天勧請・初転法輪・般涅槃	予習) 良心について考えてくる		2時間
		復習) 成道から涅槃についてまとめる		2時間
4	仏教の智慧① 縁起・中道・四諦八正道	予習) 縁起のいいもの悪いものを調べてくる		2時間
		復習) 仏教の縁起についてまとめる		2時間
5	仏教の智慧② 三毒・戒律・布施	予習) 自分の煩惱についてまとめる		2時間
		復習) 三毒・戒律・布施についてまとめる		2時間
6	坐禅の実践	予習) 坐禅について調べる		2時間
		復習) 坐禅の作法についてまとめ実践する		2時間
7	仏教の智慧③ 諸行無常・諸法無我・涅槃寂靜	予習) 無常について調べてくる		2時間
		復習) 身の回りの諸行無常について考える		2時間
8	仏教の智慧④ 慈悲 利行は一法なり、自利利他の教を考える	予習) 思いやりについて考えまとめる		2時間
		復習) 慈悲の考えをまとめ実践してみる		2時間
9	仏教の智慧⑤ 唯識 ～仏教の深層心理～ 花まつりレポート講評・返却	予習) 〔落語〕菟菟問答を視聴し考察		2時間
		復習) 菟菟問答を視聴し意識について考える		2時間
10	仏教説話を読む① ～ 偏見のからくり 罪を償うとは ～	予習) 偏見についてまとめる		2時間
		復習) 講義内容を考察する		2時間
11	仏教説話を読む② ～ 汚れた布を染めなば・本物の賢者とは ～	予習) 言い訳について考えまとめる		2時間
		復習) 観察法をまとめ実践する		2時間
12	物語から読み解く仏教 ～ ミヒヤエル・エンデの『モモ』を読んで～	予習) 『モモ』について調べる		3時間
		復習) モモと禅の関係をまとめる		1時間
13	般若心経を読む 「色即是空」の真実	予習) 「空」について調べる		2時間
		復習) 般若心経についてまとめる		2時間
14	仏教行事① 「降誕会」・「魂まつり」 魂まつりレポートについては後期返却	予習) 行事について調べる		2時間
		復習) レポートにまとめる		2時間
15	仏教行事② 「成道会」・「涅槃会」 レポートについては後期返却	予習) 行事について調べる		2時間
		復習) レポートにまとめる		2時間

担当者からのメッセージ

仏教においては、教える側の先生も学生とともに歩む存在です。つまり、みなさん自身が先生として教える側に回ることもあるということ。限られた人生をよりよいものにするために、共に勉強していきましょう。

【オフィスアワー】 水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	心理学 (I B 2)			講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 はじめて学ぶ心理学—心の形成・心の理解 井梅由美子・渡辺千歳編著 大学図書出版 2015年					
参考書 授業中に指示					
教材 適宜配布					

授業概要

【授業の内容・方法】

心理学とは目に見えない心の仕組みを理解しようとする学問です。この授業では心理学という学問の基礎体系を学び、人の行動や感情の捉え方、人の認識のあり方、それらがどのように研究されているのかを知ることを目的としています。さらに身近な心理学のトピックを取りあげ、人の心や行動への理解を深めます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

【授業の到達目標】

- ・感覚・知覚、学習・記憶、思考・言語、動機づけなどについて理解し、説明できる。
- ・発達や人格、社会行動（対人関係）、心理アセスメントと心理療法について理解し、説明できるようになる。
- ・身近なトピック及び現代社会における課題を心理学と結び付けて理解し、説明できるようになる。

【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション 心とは何か？心理学という学問について	予習) 心とは何か？を考えまとめる	2時間
		復習) 改めて心とは何か？をまとめる	2時間
2	欲求と動機づけ ～人の欲求とやる気の関係を知る	予習) 学びたい気持ちになるときを考える	2時間
		復習) 欲求と動機づけ理論をまとめる	2時間
3	感覚と知覚 (1) 基礎編 ～感覚と知覚を考える	予習) 錯視（だまし絵）を調べる	2時間
		復習) 感覚と知覚のメカニズムをまとめる	2時間
4	感覚と知覚 (2) 応用編 ～発達障がいにおける感覚と知覚を知る	予習) 感覚過敏について調べる	2時間
		復習) 発達障がいの困難をまとめる	2時間
5	学習のメカニズムを知る	予習) 誉める・叱るとは何かを考える	2時間
		復習) 条件づけについてまとめる	2時間
6	記憶のメカニズムを知る	予習) 記憶という言葉のイメージを考える	2時間
		復習) 記憶のメカニズムをまとめる	2時間
7	言語と思考とは何か？その発達を知る	予習) 言語の獲得について考える	2時間
		復習) 乳幼児期の言語発達をまとめる	2時間
8	感情の発達を知る	予習) 感情とは何かを考える	2時間
		復習) 感情の発達をまとめる	2時間
9	パーソナリティの理論と検査法を学ぶ	予習) 血液型と性格は関係するかを考える	2時間
		復習) パーソナリティ理論をまとめる	2時間
10	知能とは何かを知る	予習) 知能が高いと勉強もできるのかを考える	2時間
		復習) 知能とは何かをまとめる	2時間
11	心理アセスメントを学ぶ	予習) 心理テストからイメージするもの考える	2時間
		復習) 心理アセスメントについてまとめる	2時間
12	心理療法を学ぶ	予習) カウンセリングのイメージをまとめる	2時間
		復習) 心理アセスメントと心理療法をまとめる	2時間
13	社会的行動（対人関係の認知）を考える	予習) ドキドキすることは恋愛か？を考える	2時間
		復習) 対人関係の認知過程をまとめる	2時間
14	ストレスと心の病を学ぶ	予習) ストレスとは何かを考える	2時間
		復習) ストレスと心の病の関係をまとめる	2時間
15	家族関係を捉える 全体のまとめ	予習) あなたにとって家族とは？を考える	2時間
		復習) 課題レポートの準備	2時間

担当者からのメッセージ

心理学を学ぶと自分や他者を見る目が少しだけ変わるかもしれません。日常よくある人と関連した現象と一緒に楽しく読み解きましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	心身の発達と学習過程 (Y H II B 3)			講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 心理科学研究会『新・育ちあう乳幼児心理学-保育実践とともに未来へ-』有斐閣コンパクト2019年					
参考書 授業中に指示					
教材 適宜配布					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身につけます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

【授業の到達目標】

- ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。
- ・子どもの発達に関わる心理学の基礎と養護・教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を解説できる。
- ・乳幼児の学びの過程や特性の基礎的な知識を習得し、保育者や仲間との相互的関わりや体験、環境の意義を解説できる。

【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	ガイダンス（授業の概要と流れ） 保育と心理学について考える	予習	子どもを育てるイメージを図にする	1時間
		復習	心理学と子ども観の関係をまとめる	3時間
2	発達の定義・発達の原理・発達段階と発達課題・子どもの発達と環境について学ぶ	予習	発達とは何か？を考える	2時間
		復習	発達と環境の関連性をまとめる	2時間
3	発達における遺伝と環境・発達初期の経験の重要性・ヴィゴツキーの発達理論を学ぶ	予習	発達の遺伝と環境を調べる	2時間
		復習	初期経験の重要性は本当か？を考える	2時間
4	胎児期・新生児期の発達と発達課題を知る	予習	胎児期に記憶はあるのか？を考える	2時間
		復習	新生児期の発達をまとめる	2時間
5	乳幼児期の発達と発達課題を知る	予習	乳幼児期に大切にしたいことを考える	2時間
		復習	乳幼児期の発達をまとめる	2時間
6	児童期の発達と発達課題を知る	予習	学校で学んだことは何かをまとめる	2時間
		復習	児童期の発達をまとめる	2時間
7	青年期・成人期・老年期の発達と発達課題を知る	予習	青年期以降、人間は発達するのか？を考える	2時間
		復習	青年期・成人期・老年期の発達をまとめる	2時間
8	身体的機能・運動機能の発達について学ぶ	予習	代表的な運動遊びを考える	2時間
		復習	運動機能の発達にとって大切なことを考える	2時間
9	認知の発達と幼児・児童の学習過程を学ぶ	予習	子どもの頃に不思議だと思ったことを考える	2時間
		復習	認知と学習過程の関係をまとめる	2時間
10	愛着の形成と発達・自我・自己の発達を学ぶ	予習	3歳児神話を調べる	2時間
		復習	愛着・自我・自己の発達をまとめる	2時間
11	ことばの発達を学ぶ	予習	言語発達の過程を調べる	2時間
		復習	乳幼児期のことばの発達をまとめる	2時間
12	社会性の発達を学ぶ	予習	周りの目を気にするのは何歳から？を考える	2時間
		復習	劇づくりは社会性の発達を促すか？を考える	2時間
13	遊びの発達と保育の中に見る遊びを考える	予習	泥団子の作り方を調べる	2時間
		復習	子どもにとって遊びとは何か？を考える	2時間
14	基本的生活習慣の獲得と保育実践・身体機能と運動機能の獲得と保育実践を考える	予習	あなたの家の食事のマナーを考える	2時間
		復習	基本的生活習慣とは何か？を考える	2時間
15	認知の発達と保育実践・社会性の発達と保育実践を考える 授業のまとめ	予習	鬼ごっこの種類を調べる	2時間
		復習	課題レポートの準備	2時間

担当者からのメッセージ

子どもの発達を知ると遊びの実践が楽しくなる！をモットーに学習を進めていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期		授業科目名			授業形態	担当者
1年前期		保育教材研究Ⅰ(表現シアター) (H I G 1 0 #)			演習	柿 沼 友 岐
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 なし 教 材 適宜配布 △.エプロンシアター材料(各自負担)	
1単位	—	—	*	#		
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題作品	実技展開	授業態度		
—	—	20%	40%	40%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では、教育・保育の場面で行われているエプロンシアターやパネルシアターを自ら製作し子どもの興味や保育者の配慮等を考える。さらに現場で活用するための知識や技術を身に付ける。

授業形態は、個人による製作と演習形式を中心とする。展開実習については、講評・解説等フィードバックを行う。

【フィードバックの方法】

支援案の添削。発表については助言と学生同士で評価し合い共有する。作品は評価後返却する。

【授業の到達目標】

- ・エプロンシアターとパネルシアターを各1作品ずつ製作する。
- ・エプロンシアターとパネルシアターの知識や演じる技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

【実務経験】

幼稚園教諭と‘あそびうたとどけ隊’としての実務を生かして、現場で活用するための表現シアター技術を指導する。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	エプロンやパネルを観て様々な種類を確認し、イメージを膨らませる	予習) パネル・エプロン作品の動画を観る	復習) 自分の作りたい作品を決める	0.5時間 1時間
2	パネルシアターの製作1 (Pペーパーに鉛筆で下書き)	予習) 作りたい作品の型紙を準備する	復習) 下書きを全て終わらせる	0.5時間 2時間
3	パネルシアターの製作2 (アクリルガッシュで着色)	予習) 下書きパーツの確認・絵具類の準備	復習) 色塗りを進める	2時間 2時間
4	パネルシアターの製作3 エプロンシアターの選択	予習) 色塗りを進める	復習) 色塗りを進める	2時間 2時間
5	エプロンシアターの製作1 (フェルトに型を写し裁つ)	予習) 作りたい作品を決め、型紙を準備する	復習) フェルトに型を全て写す	1時間 2時間
6	エプロンシアターの製作2 (フェルトを縫う)	予習) 写した型に沿ってフェルトを裁つ	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
7	エプロンシアターの製作3 (人形に綿を詰め仕上げる)	予習) フェルト人形作りを進める	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
8	エプロンシアターの製作4 (エプロンに仕掛けをつける)	予習) エプロンに必要な材料を揃える	復習) エプロンを縫って仕上げる	2時間 2時間
9	パネルシアターの製作4 (油性ペンで縁取り、切って仕上げる)	予習) 色塗りを全て終わらせる	復習) 仕掛けなど全てを終わらせ仕上げる	1時間 1時間
10	演じ方を考える・展開案の作成① (導入→展開→まとめの確認)	予習) 演じるものを決め、台本を準備する	復習) 展開案を完成させる	0.5時間 1時間
11	展開案の作成② (展開案の添削・返却)	予習) 展開案に沿って練習し、時間配分を決める	復習) 修正箇所等を整理し、不足の言葉を追加する	1時間 1時間
12	展開実習1 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
13	展開実習2 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
14	展開実習3 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
15	まとめ フィードバック (学習の振り返り・保育者としての技術の確認)	予習) 両方の作品の完成を確認する	復習) 現場での展開ポイントをまとめておく	0.5時間 1時間

担当者からのメッセージ

とても根気のいる製作となりますが、世界でたったひとつのあなたの作品。一生大切に使うことができる温かい作品を作っていきます。そして、あなたらしく演じられる技術を身に付けていきましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後となります。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育教材研究Ⅱ（あそび歌） 〈 H I I G 1 1 〉			演習	柿 沼 友 岐
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技展開	授業態度	
—	—	10%	40%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 なし 参考書 コロムビアミュージックエンタテイメント株式会社 なかよしあそびうた 2500円+税 教 材 NHKエンタープライズケロポンズとあそぼう！					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では、保育の様々な場面で行われているあそび歌を知るとともに、子どもの前に立って展開していく上での技術や知識を身に付けていく。授業形態は演習を中心とするが、グループワーク等も取り入れて行う。

【フィードバックの方法】

支援案の添削。発表については助言と学生同士で評価をし合い共有する。レポートは返却する。

【授業の到達目標】

あそび歌の幅の広さを知ると共に、知識や展開する技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

【実務経験】

幼稚園教諭と‘あそびうたとどけ隊’としての実務を生かして、現場で活用するためのあそび歌技術を指導する。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	あそび歌を考える (GWにてあそび歌とは何かを考える)	予習) あそび歌とは何かをイメージする	復習) 授業への取り組み目標を決める	0.5時間 0.5時間
2	伝達技術を考える1 (言語伝達・非言語伝達 話すと聴く)	予習) 展開するのに必要なことは何かを考える	復習) 伝達技術を意識して生活をする	0.5時間 常に
3	伝達技術を考える2 (より良い伝達のためのトレーニング)	予習) 知っているあそび歌を挙げる	復習) 伝達技術を意識して生活をする	1時間 常に
4	手あそび1 (色々な手あそびを身に付ける)	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
5	手あそび2 (色々な手あそびを身に付ける) ふれあいあそび (歌に合わせてふれあうあそび)	予習) ふれあい遊びを調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
6	手あそび3 (色々な手あそびを身に付ける) DVD鑑賞	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
7	手あそび4 (色々な手あそびを身に付ける) 絵本・紙芝居 (メロディーにのせて読む)	予習) 歌に合わせて読む絵本や紙芝居を調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間 1時間
8	手あそび5 (色々な手あそびを身に付ける) DVD鑑賞	予習) 滑舌トレーニング	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	0.5時間 1時間
9	手あそび6 (色々な手あそびを身に付ける) 絵描き歌	予習) 絵描き歌を調べる	復習) 学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間 1時間
10	一つのあそび歌の展開案を作成する	予習) 自分の展開したいあそび歌を決める	復習) 展開案を仕上げる	0.5時間 1.5時間
11	添削された展開案をもとに実習の準備をする	予習) 展開案をもとに流れをイメージする	復習) 展開案を訂正し足りない言葉を加えていく	1時間 1時間
12	展開実習1 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
13	展開実習2 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
14	展開実習3 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
15	まとめ フィードバック (学習の振り返り・保育者としての技術の確認)	予習) 今まで書き溜めたシートをまとめる	復習) 現場での展開ポイントをまとめておく	1時間 1時間

担当者からのメッセージ

「たのしいな」で終わるのではなく、「自分がうまく展開できるようになるためには」ということを考えていきましょう。トレーニングで自己のレベルアップを目指すとともに、周囲からたくさん刺激を受け、自分らしく展開できるようになりましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後となります。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	こどもの食と栄養 (H I F 4)			演習	川田容子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 第3版子どもの食と栄養演習書 医歯薬出版株式会社 2500円 参考書 保育所保育指針 幼稚園教育要領 授乳離乳の支援ガイド 食育計画作成ガイド
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
70%	—	30%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

食事をおいしく楽しくとることが、心も体も健康に育つ上で基本となる。
前期は、子どもの食生活の問題点について課題を通して考察するとともに、栄養の基礎、胎児期から離乳期の栄養を学ぶ。
後期は、子どもの成長や身体状況を食機能の発達について課題を通して学ぶとともに、幼児期の栄養、乳幼児期の食育について実習を交えながら学ぶ。講義を中心に、グループワーク・実習を取り入れる。

【フィードバックの方法】

授業内でフィードバックし 講評・解説を行い共有する。レポートは添削し返却する。

【授業の到達目標】

- 健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識を説明ができるようになる。
- 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明ができるようになる。
- 食育の基本とその内容及び食育のための環境を理解し、食育指導案の作成ができるようになる。
- 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明ができるようになる。
- 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解し、対応ができるようになる。

【実務経験】

地方自治体保育所主管課にて公立保育所の給食管理業務、食育指導、行政指導監査業務を経験。
栃木県保育協議会研修・市町村保育所栄養士会研修にて保育士・栄養士の指導に携わる。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	オリエンテーション（講義・実習の進め方について説明する） 子どもの健康と食生活の意義	予習) シラバスを読む	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
2	健康・食生活の現状と課題①【グループワーク】	予習) 子どもの健康と食生活の課題を下調べ	1時間
		復習) 発表準備	1時間
3	健康・食生活の現状と課題②【ディスカッション】	予習) 発表準備	1時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
4	体の成長発達とその評価	予習) 子どもの保健・子どもの発達の復習	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
5	子どもの食べる機能の発達	予習) 教科書指定頁を読む	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
6	乳児の発育と栄養	予習) 乳児期の発達を調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
7	調乳法実習	予習) 乳児保育・調乳の復習してくる	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
8	離乳食の役割・離乳食の進め方	予習) 乳児保育・離乳食の復習	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
9	*連続授業 離乳食の実際① 初期・中期【実習】 離乳食の実際② 後期・移行期【実習】	予習) 「授乳離乳の基本」を読んでくる	1時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
11	栄養に関する基本知識① エネルギー代謝・糖質・脂質	予習) ダイエットと栄養について調べてくる	1時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
12	栄養に関する基本知識② たんぱく質・ビタミン	予習) 筋力アップと栄養について調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
13	栄養に関する基本的知識③ ミネラル・小児の食事摂取基準	予習) 骨の成長と栄養について調べてくる	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
14	栄養に関する基本的知識④ 小児期に必要な栄養素	予習) 栄養の基礎・授業をまとめておく	1時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
15	胎児・妊娠期の生理と栄養・生涯発達と食生活	予習) 自分の食事記録をつけてくる	0.5時間
		復習) 定期試験準備	3時間

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)	準 備 学 習 時 間
16	幼児期の心身の発達と食生活① 心身の発達	予習) 子どもの保健・子どもの発達を復習	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
17	幼児期の心身の発達と食生活② 食の育ち	予習) 子どもの食の発達について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
18	幼児期の心身の発達と食生活③ 食の課題と対応 【ディスカッション】	予習) 幼児期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
19	幼児期の食生活・栄養の特徴	予習) 幼児期の食の特徴について下調べ	0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
20	児童福祉施設における食事と栄養	予習) 保育所給食の実態を調べてくる	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	0.5時間
21	学童期の心身の発達と食生活	予習) 学童期の食の課題について下調べ	0.5時間
		復習) 課題レポート作成	1時間
22	食育の基本 幼児期における食育と食育計画	予習) 食育に関する資料を集める	1時間
		復習) 自分で実施したい食育保育を考える	0.5時間
23	食育の基本 食育年間計画作成	予習) 食育年間計画資料を集める	1時間
		復習) 課題レポートの作成	1時間
24	食育保育指導案作成 【グループワーク】食育計画①	予習) 年齢ごとの保育計画の特徴を見直す	0.5時間
		復習) 食育指導案作成	0.5時間
25	食育保育指導案作成 【グループワーク】食育計画②	予習) 食育指導案作成	0.5時間
		復習) 発表演習の準備	1時間
26	食育保育演習① 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
27	食育保育演習② 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
28	食育保育演習③ 子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備	0.5時間
		復習) 課題レポート	1時間
29	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーのある子どもへの対応	予習) 子どもの保健・アレルギーについて復習	1時間
		復習) 授業資料を読み直す	0.5時間
30	特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障がいのある子どもへの対応	予習) 子ども保健・疾病について復習	1時間
		復習) 定期試験準備	3時間

担当者からのメッセージ

子どもに食を伝えていくためには、保育者自らの「健康的な食生活を実践する力」が必要です。毎日の生活の中で食に興味関心を持ち、朝食の摂取やバランスの取れた食生活、食事のマナーを身につけるよう心がけましょう。

保育士資格取得必須科目であり、「保育の心理学」「子どもの保健」「家庭支援論」などの関連性が深く復習を踏まえた理解が必要です。当授業では、実習や教材研究を行うため、レポート等の提出があります。しっかり予習、復習を行い、積極的に授業に参加して下さい。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、担当授業修了後の休み時間です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		こども家庭支援論 (H I E 4)		講義	近末 克紀
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼 保連携型認定こども園教育保育要領 教材 プリントなど適宜配布
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	実技	授業態度	
—	20%	60%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育者として、その専門性を活かして行う子育て家庭への支援について考え、多様な支援の形や実際を知ることで、その意義と目的を理解する。グループワークやディスカッションを中心に、保育現場でおきた実際の事例をもとにその時の子どもたちや保護者の姿や感情、課題や問題点を探り、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業の中でフィードバックする。レポートについては返却する。

【授業の到達目標】

- ・子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解する。
- ・「よりよい子育て社会」の構築に向けて、保育者としての意識を身につける。
- ・子どもの成長に対する保護者との共有、支援の具体的な方法を理解する。

【実務経験】

保育士歴 21 年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的に実践的に学んでいく。
保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と役割を知る	予習) シラバスにて授業内容、到達目標を把握		1時間
		復習) 子ども家庭支援の意義役割についてまとめる		2時間
2	保育の専門性を活かした子ども家庭支援 子どもの育ちの喜びと共有	予習) 子育ての喜びについて考えてくる		1時間
		復習) 子どもの成長の喜びについてまとめる		2時間
3	保育士に求められる基本的態度 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 保育士としての態度について考える		1時間
		復習) 基本的態度についてまとめる		2時間
4	それぞれの家庭の状況に応じた支援の在り方 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 様々な家庭環境について考える		1時間
		復習) 家庭の状況に応じた支援の在り方をまとめる		2時間
5	公的機関との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習) 公的機関について調べてくる		1時間
		復習) 公的機関との連携についてまとめる		2時間
6	子ども家庭支援に対する環境づくり① 「傾聴」	予習) 傾聴とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 傾聴のポイントをまとめる		2時間
7	子ども家庭支援に対する環境づくり② 「承認」	予習) 承認とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 承認のポイントをまとめる		2時間
8	子ども家庭支援に対する環境づくり③ 「質問」	予習) 質問とはどういうことか調べてくる		1時間
		復習) 質問のポイントをまとめる		2時間
9	保育現場での支援の実際 送迎時の会話・連絡帳を基に考える	予習) 連絡帳の意義を考えてくる		1時間
		復習) 連絡帳などの大切さやポイントをまとめる		2時間
10	保育現場での支援の実際 事故事例から考える グループディスカッション・発表	予習) 保育園での事故事例を調べてくる		1時間
		復習) 保育者として命との向き合い方をまとめる		2時間
11	保育現場での支援の実際 いざという時の一時救命処置	予習) 救命処置について予習してくる		1時間
		復習) 救命処置について復習し身につける		2時間
12	安全の心構えと日常に潜む危険の予防 子ども家庭と共有したい危険の予防と対応	予習) 子どものケガの対処法などを調べてくる		1時間
		復習) 子どものケガの対処法をまとめ整理する		2時間
13	保育現場での支援の実際 「天使にもつ」を参考に考える①	予習) 保育士のあり方について考える		1時間
		復習) 保育士の仕事を十分理解する		2時間
14	保育現場での支援の実際 「天使にもつ」を参考に考える②	予習) 現在の自分の保育観について考えてくる		1時間
		復習) 現在の自分の保育観についてまとめる		2時間
15	いのちの授業 ゲストティーチャーを迎えて	予習) いのちについて考えてくる		1時間
		復習) 大切ないのちを預かるという自覚を持つ		2時間

担当者からのメッセージ

保育現場で出会うたくさんのお子さんや保護者たちへの支え方を、実際に保育現場であったお話をもとにみんなで考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。質問は manaba でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	こどもと音楽（うた） （ H I I G 8 # ）			演習	千葉 あかね
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 うたってひいて童謡ぴっこりーの（共同音楽出版社） 仏教聖歌 参考書 教材 プリント（適宜配布）
1単位	*	*	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
70%	—	10%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

基礎的な呼吸法・発声法を習得し、保育者としてののびのびと表情豊かに歌唱する能力を高めていく。
授業では理論を取り入れた演習で行い、グループワークや全体の実践として進める。
全体の前で個人での発表・歌唱を行うことで、人前で表現する能力を高める。
校歌、仏教聖歌については、随時授業に取り入れていく。

【フィードバックの方法】

15回目の授業で全体の前で試験曲を暗譜で独唱し、フィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・声を出すことに慣れ、歌うことの楽しさを知り実践できる。
- ・歌の内容を理解して、暗譜で歌唱できる。
- ・積極的に声を出し、表情豊かに歌唱できる。

【実務経験】

幼児のグループレッスンの実務経験を活かし、理論と幼児の音楽活動の現場の様子を実践的に捉えて講義・演習を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	友だちと遊べる歌 コミュニケーションをとりながら歌える歌について	予習) シラバスを読み、授業内容を把握する	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
2	呼吸法と発声法 基礎的な呼吸法・発声法を学ぶ	予習) ぴっこりーの目次から春の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
3	楽しく歌おう①動きを取り入れながら楽しく歌う体験をする 歌の内容に合った身体活動について考え、実践する	予習) ぴっこりーの目次から夏の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
4	楽しく歌おう②子どもの発達と歌唱 年齢・月齢に合わせた身体活動と発音について	予習) ぴっこりーの目次から秋の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
5	生活の歌①子どもの生活と歌のつながり 子どもの生活に直結した歌について	予習) ぴっこりーの目次から冬の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
6	生活の歌②季節や行事に適した歌 選曲のしかたと導入方法について	予習) 音楽用語を調べてぴっこりー-に書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
7	春の歌①情景をイメージしながら歌唱 歌詞の音読と歌唱	予習) 音楽用語を調べてぴっこりー-に書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
8	春の歌②リズムと音程の確認 歌詞の音読と歌唱	予習) 音楽用語を調べてぴっこりー-に書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
9	夏の歌①リズムと音楽記号の確認 歌詞の音読と歌唱、漢字も交えながら縦書きで歌詞を書く	予習) 音楽用語を調べてぴっこりー-に書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
10	夏の歌②グループごとに暗譜で歌唱 グループごとに全体の前で暗譜で歌唱	予習) 音楽用語を調べてぴっこりー-に書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
11	秋の歌①日本語の響きの美しさ、ことばの大切さ ことばに適した発音、速度について	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
12	秋の歌②最適な演奏速度 歌の内容・情景に適した演奏速度について	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
13	冬の歌①演奏順序の確認 音楽記号を確認し、正しい演奏順序で歌唱する	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
14	冬の歌②歌唱力を高めレパートリーを広げる 配布プリントの曲の歌唱、歌詞の確認	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1時間 1時間
15	まとめ 試験を想定して全体の前で暗譜で独唱する	予習) 呼吸法・発声法を意識して暗譜で歌唱	復習) 試験曲の練習	1時間 1時間

担当者からのメッセージ

歌うことは『自分』という世界にたった1つしかない楽器を奏で、表現することです。自信を持って声を出して、歌うことでコミュニケーションをとる楽しさを体験しましょう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	仏教保育論 (H I E 6 #)			講義	藤生義仁・関裕剛 内藤弘純
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 分かりやすい仏教保育論 教材 講師が用意したパワーポイント、プリントなどにより授業を進める
2単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	70%	—	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授業概要

【授業の内容・方法】

仏教とは「慈悲」の宗教である。仏教保育とは、慈悲の心にねぎした保育をいう。保育の中の仏教行事、月間のねらいなどを基に、実際に園で行っている保育を紹介・解説していく。主に講義として行うが、年4回の仏教行事の参加を求め、また、それぞれ授業においては、グループワーク、ディスカッションなどの時間を取り入れながら、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーに関しては、授業の中でフィードバックし、共有した後返却する。

【授業の到達目標】

日常の保育の中で、仏教精神や仏教行事がどのように取り入れられているかを理解し、説明できる。またそれぞれの園での活動の違いを知る。そして、自身の今後の保育感を深め、「こういう保育者になりたい」と考えられるようになる。

【実務経験】

保育園の園長の経験、僧侶としての経験と知識を活かして、保育と仏教の統合的実践的な講義を行う。

授業計画		担当者	準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	仏教保育とは (1) ～「生きる」について考える～	藤生	予習 「生きる」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
2	仏教保育とは (2) ～「有難い」について考える～	藤生	予習 「有難い」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
3	仏教保育とは (3) ～「信頼関係」について考える～	藤生	予習 「保育」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
4	月間の保育のねらい (1) 4月「合掌聞法」	藤生	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
5	月間保育のねらい (2) 5月「持戒和合」	藤生	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
6	月間保育のねらい (3) 6月「生命尊重」、7月「布施奉仕」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
7	月間保育のねらい (4) 8月「自利利他」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
8	月間保育のねらい (5) 9月「報恩感謝」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
9	月間保育のねらい (6) 10月「同事協力」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
10	月間保育のねらい (7) 11月「精進努力」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
11	月間保育のねらい (8) 12月「忍辱持久」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
12	月間保育のねらい (9) 1月「和顔愛語」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
13	月間保育のねらい (10) 2月「禪定静寂」、3月「智慧希望」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
14	仏教行事 (1) 仏教行事「降誕会」「魂まつり」の参加、レポート提出	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
15	仏教行事 (2) 仏教行事「成道会」「涅槃会」の参加、レポート提出	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間

担当者からのメッセージ

仏教保育の優しさ、心の豊かな保育を理解し、保育の楽しさ、やりがいに繋げてもらいたいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休み時間内。質問は「manaba」でも受け付けます。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	手話コミュニケーション (H I I G 1 7 #)			演習	飯島美佐子・新井恵美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	—	—	10%	40%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

授 業 概 要

【授業の内容・方法】
この授業では、聴覚障害・手話の基本知識の習得を目的とし、聴覚障害者のおかれている現状について理解を深める。
[聴覚障害とは・・・]「手話とは・・・」について学ぶ。は授業形態は手話で会話する演習方式を中心とするがグループワーク等を取り入れて行う。

【フィードバックの方法】
定期試験については、説明等フィードバックを行う。

【授業の到達目標】
聴覚障害者にとっては手話は、日本語と対等な言葉であることを学ぶ。
相手の手話を読み取り、手話で簡単な日常会話ができる。

【実務経験】
手話通訳としての実務経験を生かして、聴覚障害・手話の基本について指導する。

授 業 計 画		準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習)	準 備 学 習 時 間
1	<講 義>聴覚障害とは <実 技>伝える・・・身振り等工夫して伝える・指文字	予習) 授業内容 聴覚障害に関することについて考える 復習) 指文字 練習	1時間 1時間
2	<演 習>挨拶・名前・数字	予習) プリント復習① 演習 復習) 表現自主練習	1時間 1時間
3	家族	予習) プリント② 演習 復習) 自分の家族 自主練習	1時間 1時間
4	都道府県・地名・住所	予習) プリント③ 演習 復習) 住所 自主表現	1時間 1時間
5	趣味	予習) プリント④ 演習 復習) 趣味 自主表現 練習	1時間 1時間
6	仕事・夢	予習) プリント⑤ 演習 復習) 仕事・夢 自主表現 練習	1時間 1時間
7	1日の生活	予習) プリント⑥ 演習 復習) 1日の生活を振り返り 練習	1時間 1時間
8	1か月の生活	予習) プリント⑦ 演習 復習) 1か月の生活を振り返り 練習	1時間 1時間
9	1年間の行事	予習) プリント⑧ 演習 復習) 1年間の行事を振り返り 練習	1時間 1時間
10	星座・干支	予習) プリント⑨ 演習 復習) 表現練習	1時間 1時間
11	反対語	予習) プリント⑩ 演習 復習) 表現練習	1時間 1時間
12	行事計画 グループ発表①	予習) ポスターの題名 表現の役割をまとめる 復習) ディスカッションのまとめを行う	1時間 1時間
13	病院 グループ発表②	予習) テーマ・歌・手話表現の役割をまとめる 復習) ディスカッションのまとめを行う	1時間 1時間
14	総復習	予習) 表現を見直し確認しまとめる 復習) 習った事を繰り返しながらまとめる	1時間 1時間
15	<まとめ>今まで習った手話の総復習 試験	予習) 今まで習った手話を再確認しまとめる 復習) 総復習試験の準備	1時間 1時間

担当者からのメッセージ

手話の基礎となる学びですので、しっかり覚えましょう。また、積極的に授業に参加してください。
手話は聴覚障害者にとって大切な貴重な言葉です。オフィスアワーは授業終了後の休み時間です。
【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休み時間です。